

# 俳句の謎

あるパズル好きの俳句作家が作品展のために 12 の連作の俳句を作るよう依頼された。ところがその俳句作家から提出された作品は一か所黒塗りで伏字になっている部分があった。そこを埋めてみよ、でなければ自分の作品は取り下げると言うのである。

- ・「それがいい」 みなが取り合う さくらんぼ
- ・落とし物 探しに戻る 七五三
- ・立秋や 端綱引きつつ 空見上ぐ
- ・表札の 下に落ちたる 菖蒲の葉
- ・影踏みの 子らの声聞く 夏休み
- ・感傷に ひとりて過ごす 暮れの秋
- ・春雨や 嫁と息子と 団欒す
- ・恵方巻 最後の欠片 ほおばりぬ
- ・ストーブの 母の目元の 紋二本
- ・夜勤明け 卯月鳥にて 時を知る
- ・正月の 歓声を背に おもつ替え
- ・吾子の手に ■ コスモス ニ本なり

この俳句作家によれば、この 12 の俳句にはある共通点があり、その共通点がわかれば黒塗りになっている部分もわかるというのである。但し、入るのは「コスモス」にかかる形容詞であるということは教えてくれた。

また、実はこの 12 の俳句は正しい順番に並んでおらず、その順番も大きなヒントになるというのだが…

さて、黒塗りになっている単語は何だろう？

## Rule

- ・黒塗りの部分に入る単語をお答えください。なお、文字数が正解と一致しているとは限りません。
- ・問の条件を満たしていない単語はたとえ法則が分かっていても不正解になります。